

令和7年9月22日

琉球大学病院
病院長 鈴木 幹男 殿

沖縄県がん診療連携協議会
小児・AYA部会長 浜田 聡

病棟における学齢期の入院患者への Wi-Fi 無料開放について（要望）

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
さて、教育における ICT（情報通信技術）の活用は、学びの多様化が進む現代において、ますます重要なテーマとなっております。

文部科学省も、GIGA スクール構想の中で、「すべての子どもたちに、個別最適で協働的な学びを実現するための ICT 環境の整備は必要不可欠である」と明記しており、特に病気療養中の児童生徒や、特別な支援が必要な子どもたちにとって、ICT はまさに「学びの格差を埋めるカギ」とされています。

沖縄県内においても、院内学級の教育環境整備が進められており、現在 8 か所の病院内学級には専用のインターネット回線が敷設されています。また、琉大病院や子ども医療センターなどの基幹病院の院内学級には、Wi-Fi 環境も整備されています。

しかしながら、院内学級から離れた病室やクリーンルーム等においては、Wi-Fi の電波が届きづらく、子どもたちの学習に支障が生じている状況です。モバイル Wi-Fi（持ち運び可能な端末）を利用するケースもありますが、台数の制限や電波の届きにくさ等、安定的なインターネット接続が困難な場合も多くあります。

つきましては、貴病院におかれましても、入院中の学齢期の子どもたちの学習環境の充実のため、下記のとおり、病棟内での Wi-Fi の無料開放について、前向きなご検討を賜りたく、お願い申し上げます。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

1 対象

学齢期（小学校 1 年生～高校 3 年生）までの入院療養中の子どもたちについて、学習目的に限り Wi-Fi を無料で開放していただきたい。

- 2 利用目的の限定Wi-Fiの利用は、教育学習に限定し、以下を想定する。
 - ・オンライン授業への参加
 - ・リモートによる学習支援
 - ・オンライン教材を使った自主学習等
- 3 支援する教員も対象に支援に関わる教員・教育関係者についても、同様に Wi-Fi 利用を許可いただきたい。
- 4 利用時間の制限（要検討）

通信トラフィックやセキュリティ、子どもたちの夜間の利用防止等の観点から、午前 9 時～午後 4 時までなど、時間帯による利用制限を検討していただいても構いません。